

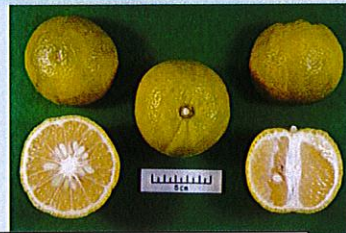
機能性成分に着目したカンキツ新品種の開発

和歌山県果樹試験場

和歌山県北山村原産のカンキツジャバラは、果実中にフラボノイドのナリルチンやナツダイダイを多く含有しています。一方、他のカンキツ類が持つフラボノイド(ヘスペリジン、ノビレチン、ナリンギン等)は全くあるいはほとんど含まれていません。

この試験は、ジャバラを種子親にジャバラ果実には含まれていないフラボノイドを含有するカンキツ類を交雑育種で育成することを目的としています。

2005年		2007年		2009年		2011年		2013年	
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目～
交雑・播種	実生育成 育苗	高接ぎ (温州ミカン)	結実促進・栽培管理		結実開始(2009年～)・果実品質調査など			選抜・ 登録申請へ	



ジャバラ(ナリルチンやナツダイダイが多い)

× 交 雑



花ユズ
(ヘスペリジン、ノビレチンが多い)



たちバナ
(ヘスペリジン、ノビレチン、タンゲレチンが多い)



ダイダイ(座ダイダイ)
(ナリンギン、ネオヘスペリジンが多い)



舟床(ふなどこ)
(ネオヘスペリジンが多い)



イチバンレモン
(ナリンギンが多い)

交
雑
後



ジャバラ×たちバナ No.3



ジャバラ×ダイダイ No.94



ジャバラ×舟床 No.18

試 験 中 の 個 体 果 実 例

交雑育種で出来た果実のフラボノイド含量を測定し、成分含量の多い個体を選抜します